

## 私のすすめるこの1冊

小林 稔 (教職キャリア高度化センター 教授)

### 『命の格差は止められるか』(小学館 101 新書)

イチロー・カワチ (著)

著者イチロー・カワチ (現ハーバード大学教授)氏は、父親の仕事の関係で12歳の時にニュージャージーに移住し、その後オタゴ大学医学部を卒業し、当地にて内科医として勤務されておられました。1992年にはハーバード大学公衆衛生大学院に移られ、現在の職に就かれています。ご専門は「公衆衛生学・社会疫学」であり、この本においても、定量的なデータをもとに、説得力のある内容で、話を展開されておられます。特に、経済格差が健康格差に結びつくこと、さらには、健康にとって最も大事な要因として、ソーシャルキャピタル(社会における人々の結束により得られるもの: 社会関係資本)を挙げている点が特徴と言えるでしょう。長寿を実現するには、格差の小さい社会で「人々の絆」や「隔たりのない社会」が重要であることを指摘することに加えて、格差が広がりつつある日本の現状を憂い、今が格差縮小を取り戻す大事な時期であると説いています。もちろん本書では、「健康」に関する話題が中心ですが、著者は教育にも大変関心がおありで、例えば、教育への投資効果を年率17%と数値化したり、幼児期に「我慢強さ」を学ぶことが、成長してからの誘惑に負けない自己抑制能力の獲得につながったりすると述べています。この自己抑制能力は、健康上きわめて重要で、身近なところでは、喫煙やドラッグの誘いを断る態度にも関係してきます。このように随所に社会疫学者ならではの「教育」への

視点が盛り込まれています。

他にも、普通は幼児期のスパルタ式教育を批判的な目で見てしまいがちですが、本著では過去に米国で実施された2つの黒人に対する縦断的介入研究(ペリー就学前プロジェクトとアベセダリアン・プロジェクト)を事例に、幼児期にスパルタ式で基礎学習を叩き込んだ子どもの、成人期以降における「健康度」や「経済的豊かさ」に関するポジティブな結果と見解、すなわち、スパルタ式の教育を受けた子どもは、そうでない子どもに比べて喫煙率が20%以上低下していたり、一定の収入を得ている率や持ち家率が高かったりする等の結果を報告しています。普段、教育学や心理学分野にどっぷり浸かっている者にとって、社会疫学者が伝えるこの種の「教育」への提言が新鮮に映ることでしょう。また、一般的に社会格差や経済格差を取り上げた話は、政治的な方向に走ってしまいがちですが、そうではなく、データに基づいて客観的に淡々と健康や長寿に関連させながら著している点が本書をお薦めする理由の一つでもあります。

以前私が住んでいた沖縄に、著者は講演やご自身の研究のためちょくちょく来られ、地元の研究者とは気さくにバーベキューなどで交流を深めておられました。日本酒とお寿司をこよなく愛されているようなので、機会があれば、一度、京都や本学にも講演などで来ていただければと考えています。

# 図書館からのお知らせ

## 夏期休暇に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出を行っていますので、どうぞご利用ください。

対象者	院生・教職員	学部生
貸出冊数	12冊	7冊
貸出期間	7月8日(火)～9月4日(木)	7月22日(火)～9月18日(木)
返却期限日	<b>平成26年10月3日(金)</b> ※前期で卒業・修了予定の方は平成26年9月10日(水)となります。	

- ※ 視聴覚資料を除く
- ※ 長期貸出図書については、返却期限日の延長はできません。  
一度返却してから、翌日以降貸出の手続きをとってください。
- ※ 一般利用者・卒業生を除く



## 雑誌の製本作業について

8月から10月初旬(予定)まで、南館1階の新着雑誌コーナーにある雑誌のうち、2013年発行分を中心に一部巻号が製本のため利用できなくなります。製本後は西館3階書庫に並べますので、そちらをご利用ください。

※製本対象リストを図書館ホームページ(下記)に掲載しております。

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/information/2014/binding/binding.html>



展示の様子

## リクエストウィークの展示を行っています

5月14日(水)～27日(火)にかけて募集した特別リクエストウィークで購入した図書を、下記のとおり展示しています。リクエストした本人以外にも借りることができますので、ぜひ気軽に見に来てください。

【期間】7月30日(水)～8月29日(金)

【場所】西館2階エレベーター前



## 2014 オープンキャンパス

8月5日(火)11:30~16:30

—図書館をご利用の皆様へ—  
通常通り開館してありますが、混み合う事が予想されます。申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

※「解体新書」の展示をします。

## 公開講座 楽しい塑造教室 作品展

本学の木代喜司名誉教授、谷口淳一（美術科）教授の講師による公開講座『楽しい塑造教室—頭像とテラコッタ作り—』（現職教員、一般市民対象）の作品展が開催されます。

みなさんぜひご覧ください！

【日時】平成26年8月20日(水)~24日(日)

※土・日も開催

10時~16時50分（最終日は16時迄）

【場所】図書館西玄関ホール（学生課横ロビー）

## 附属桃山中学校より 職場体験

7月2日(水)から4日(金)にかけて、附属桃山中学校から職場体験実習の生徒を2名受け入れました。カウンターでの貸出・返却業務の他、図書の入入やラベル装備、他大学からの文献複写の受付処理など、普段は目にする機会のない図書館業務についても体験してもらいました。



昨年度の  
受講者の  
作品です。

## えほんのもり

今月の読み聞かせ会は、

8月18日(月) 15:00~ です。

『なつのいけ』

塩野 米松 作・村上 康成 絵

★おすすめポイント★

真夏をイメージさせる鮮やかな青と緑の世界。池の中の生き物はそれぞれ必死に暮らしています。そんな生き物たちと人間の子どものやりとりがみどころです！



今月の  
絵本カードは  
こちら！

教育資料館

まなびの森ミュージアム

本学の教育資料館 まなびの森ミュージアムは「京都・大学ミュージアム連携」に所属しています。2014年4月~2015年3月31日(火)の期間、連携14大学所属学生・院生は、京都大学総合博物館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館の入場料が無料となります。（学生証の提示が必要です。）どんどん活用してくださいね！

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

「ニューカマー教員が学校の多文化化に果たす役割とその認識」

浜田 麻里・伊藤 悦子

京都教育大学紀要. 2014, No.124, pp.71-85

川岸にたずずんで眺めているだけでは、流れの速さに気づかないことがある。現実の社会におけるグローバル化は我々の予想を越えた速度で進んでいるが、教員養成大学の中でさえ、「外国人は教員免許は取れない」「外国人は教員にはならない」などという誤った現状認識が珍しくない。

日本の公立学校においては、すでに在日コリアンを中心とした外国籍の教員が多数勤務しているし、少数ではあるが、自分自身が外国出身で幼少期に日本へ移住してきた、いわゆるニューカマー教員も誕生し、「普通の」教員として勤務している。

本稿では、日本の各地で活躍する6名のニューカマー教員に対するインタビューから、彼らの教育実践やそれに対する自身の認識を分析した。

ニューカマー教員は「〇〇人」という自身のルーツの共同体の一員であると同時に、日本の公立学校教員という共同体の一員である。単にニューカマーの子どもや保護者を言語的・心理的に支援するだけでなく、彼らはこの二重の成員性を駆使して、多様な文化の交差する学校で戦略的に役割を果たそうとしている。

もしあなたがニューカマー教員だったとして、日系人である親の姓をわざと漢字で表記して用い、保護者の信頼を勝ち得ようとするか。反対にルーツがあからさまにわかる名前を使い、外国人の教員がいることを意識させようと働きかけるか。名前一つでも自分の存在を意図的に操作することができる。

もしあなたが担任をしているクラスの外国人保護者が「子どもの安全第一」と考え、雪の日に子どもに学校を休ませたら、あなたならどのような対応をするだろうか。ニューカマー教員が実際にどのように対応したかは、この論文をお読みいただきたい。

グローバル化した学校においてニューカマー教員の果たす役割は大きい。いま求められるのは、ニューカマー教員の実践を学校全体で支える体制作りである。教員養成を本分とする本学は、このような時代の要請に応えられる教員養成を行っているか。あらためて問い直す時期に来ている。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 124号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2014年8月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8/5-9/30 夏季休業

8/13-8/15 夏季一斉休業

2014年9月

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

9/3 館内整理日

9/13 大学院入試(学外者の来館不可)

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード →



京教図書館 News No.167 (2014年8月号)

発行日:平成26年8月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学